

令和5年度  
(2023年度)

教育実施計画書  
(カリキュラム・ポリシー)

中央工学校  
インテリアデザイン科

## 目 次

I. 教 育 目 的	1
II. 指 導 目 標	1
III. 指 導 要 領	1
IV. 成 績 評 估 方 法 · 基 準	2
V. 教 科 構 成 表	3
VI. 教 科 別 教 育 實 施 計 畫 書	4
VII. 教 科 別 教 科 書 一 覽	54
VIII. 教 具 教 材 一 覽	55

## I. 教育目的

インテリアデザイン科の教育は、修業年限 3 年の学習期間を有効に活用して、発想力や感性を求め、社会から必要とされる「柔軟に考え自在に動く」人材の育成を意図する。また、インテリアデザイン全般に対応した、トータルにインテリアが考えられるインテリアデザイナーや設計者、施工技術者の育成と家具製作のスペシャリスト、生活雑貨の企画・提案・製作するインテリア・プロダクトデザイナーの育成を目的とする。加え二級建築士の受験資格を得ることにより幅広い分野と専門技術を生かせる就職先を視野にいたした「実践的技術者の養成」を教育指導の根本とする。

## II. 指導目標

住居や商業施設、公共施設に対応したインテリアをはじめ、高齢者や障害者に配慮した生活環境の提案、家具や照明、インテリア小物や生活雑貨のデザインならびに製作について、専攻(コース)別によって習得することを目標とし、インテリアを主体としたデザイン力の習得や現物制作(ものづくり)の技術力習得、インテリア全般に関する計画や設計・施工に関わる知識、製図やドローイング技術を習得すると共に、施工や監理する建築的職能分野にも適応する能力を養成することを指導目標とする。

1. 1 年次ではインテリアやデザインに必要な基礎能力と建築的基礎学力を習得させ、2 年次ではより専門へのステップアップとしてインテリアデザイン専攻とファニチュアデザイン専攻の 2 専攻制とする。
2. インテリアデザイン専攻では、インテリアと建築に特化したカリキュラムを構築し、デザインとディテールを中心としたリフォームやコーディネート、色彩や生活環境、ユニバーサルデザインの導入等に留意する。ファニチュアデザイン専攻では、「若年者ものづくり大会」への出場を見据えた技術の習得を重要視し、木工家具のデザインと技術を駆使した現物作成を行い身に付ける。
3. 社会人としての心構えを目的とした実務研修を実施し涵養性を身に付ける。
4. 学習要項で推奨する以下の各種資格を在学中に取得することでスキルを身に付ける。

推奨資格	目標合格率・取得率
色彩検定 3 級	100%
商業施設士補	100%

## III. 指導要領

インテリアデザイン科は以下のような方針の基に教育指導に当たる。

1. デザインと技術の革新に対応して、教育内容の刷新・研究等の強化を常に図り、時代を先取りした指導に努める。
2. インテリアの基本となる科目に於いては、関連する他科目との密接な関連に留意して、デザインの「総合性」と「まとまり」をもたせることに学習指導上留意する。
3. 教科構成分類は共通教科と専攻教科に区分される。専門科目では計画系、材料系等の各系に大別され、実習科目には表現技法系、演習系等に大別される。専攻教科にはそれぞれに専門科目と実習科目がある。特別選択科目として国内や海外の建築やインテリアの見学研修が設定されている。
4. 実習指導に当たっては、実際に即した模範例あるいは実例を示すなどして学習意欲を促し、感性や独創性を育み、しかも「理解出来る」指導に常に配慮する。
5. 講義科目については全体を直截簡明に把握させると共に、実社会に於ける技術と実務の関連及び応用について、正しく理解し習得されるように、総合性や関連性、系統性に十分配慮した基礎能力を養うよう努める。また、新しい教材と新しい工法また新しい考え方を学生に伝達することを心がけ産学協同に積極的に取り組むことに努める。
6. 本科のインテリアデザイン専攻の卒業生は、卒業と同時に二級・木造建築士の受験資格を取得することが出来る。指導に当たってはこのことを十分留意した上で、受験本位の教育に陥ることなく、建築に関する基本的な技術能力と応用力の育成に努める。
7. 企業と連携した教育を行うことにて、職業に対する実践的な授業を実施する。

#### IV. 成績評価方法・基準

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。また、卒業制作や進級課題では、校長の承認を得て総合的に評価を行っている。100点満点における60点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率85%未満の生徒については、その成績評価の対象としない。

# IV. 教科構成表

必修選択の別	教科区分	教科目	第1学年		第2学年		第3学年		授業時数 合計	実務家教員 担当教科		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期				
必修科目	共通科目	合宿研修	(36)		(36)		(36)		(108)			
		実務研修					(40)		(40)			
		専門科目	基礎力学	1						15		
			空間・住居論	1						15		
			室内様式史	1						15		
			一般構造	1						15		
			インテリア計画	3						45		
			美術・デザイン概論		1					15		
		実習科目	家具様式		1					15		
			基礎製図	3						45	○	
			インテリアエレメント	6	6					180		
			レンダリング	3	3					90	○	
			CAD製図	3						45	○	
			基礎造形	3						45		
		選択必修科目	インテリア選択	コンピュータグラフィックス			3	3			90	
ドローイングテクニック						3	3		90	○		
選択必修科目	インテリア選択	専門科目	基礎力学		1					15		
		建築法規		1						15		
		店舗計画		2						30		
		コンサルティング		3						45		
		実習科目	基礎製図		6					90	○	
	CAD製図		3						45	○		
	ファニチュア選択	専門科目	家具モデリング		(1)					(15)		
			実習科目	基礎(家具)製図		(3)				(45)		
			家具製作Ⅰ		(6)					(90)		
			家具製作Ⅱ		(6)					(90)	○	
		インテリアデザイン専攻	専門科目	店舗計画			2				30	
				インテリア材料			3				45	
				インテリア施工・積算			3	3	3		135	○
				インテリア環境・設備			2	2			60	
				マーケティングリサーチ				1			15	
				企業・事業概論				2			30	
	インテリアデザイン専攻	実習科目	基礎製図			3				45	○	
			デザイン実習(雑貨)			6	6	6	6	360		
			インテリアデザイン設計			4	4	12		300	○	
			店舗デザイン設計(飲食・物販)			4	4	3		165	○	
			プレゼンテーションテクニック				2	3	3	120		
			インテリアドローイング						3	45	○	
			卒業制作						18	270	○	
	ファニチュアデザイン専攻	専門科目	家具加工・材料			(3)		(3)	(6)	(180)		
			実習科目	ファニチュアデザイン計画			(6)	(6)		(180)	○	
ファニチュアデザイン設計						(6)	(6)	(180)				
家具製作				(18)	(18)	(18)		(810)	○			
卒業制作							(18)	(270)				
専攻選択科目	共通	国内研修(インテリア)	《36》		《36》		《36》		《36》			
		海外研修(インテリア)	《72》		《72》		《72》		《72》			
週授業時間			25	27	30	30	30	30	172			
週数			15	15	15	15	15	15	90週			
年間(30週)授業時数			780 (36)		900 (36)		900 (116)		2580 (188)			

※ 《 》 は任意選択。

## V. 教科別教育実施計画書

共通・ 専門科目	講義	基礎力学	1 学年	前期
目的・目標（指標）		目的：構造力学の基礎である構築物における力の流れと解析方法を理解し、数値として把握できるようになる。 前期目標：単純な静定構造物の力の流れと部材に生じる力を理解して数値を算定できるようになる。		
指 導 内 容				
前 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	力学とは		表現、符号、力の効果	
2	力のモーメント		モーメントの求め方	
3	合力		一点に作用する力の合力、平行に並ぶ力の合力	
4	合力		バリニオンの定理、分布荷重の合力	
5	力の釣り合い		水平方向の力、鉛直方向の力、曲げモーメント	
6	力の釣り合い		釣り合い条件式	
7	反力		力学モデル、構造部の支え方	
8	反力		単純梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)	
9	反力		片持ち梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)	
10	反力		張出梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)	
11	反力		ラーメンの反力(水平方向、鉛直方向の力)	
12	部材に生じる力		力の解説、曲げモーメント図、単純梁	
13	部材に生じる力		片持ち梁	
14	部材に生じる力		せん断力図	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

共通・ 専門科目	講義	空間・住居論	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：空間・意匠を形成過程の中で捉え歴史から導かれる思想と概念また常識物を知り現在の空間デザインに取り込み生活空間のセンスをより一層養う。</p> <p>前期目標：歴史から導かれる思想と概念を読み解き、空間・意匠を形成する過程を理解し、演習において空間デザインできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	住まうとは(空間と時間)		ガイダンス	
2	古代住居と空間		竪穴式	
3	古代住居と空間		高床式	
4	古代～中世		都城と宮殿～寝殿造	
5	古代～中世		寺院～神社	
6	中世～近世		寺院～神社	
7	中世～近世		武家文化・寝殿造り～書院造り	
8	中世～近世		城郭～民家～長屋文化	
9	近世～昭和初期		古代～近世までの住空間	
10	近世～昭和初期		書院造～茶室～数奇屋	
11	昭和後期		寺院～神社	
12	昭和後期		戸建て空間とアパートメント・建築家による住居	
13	近代の日本の建築と空間		建築家による建築(1)	
14	近代の日本の建築と空間		建築家による建築(2)	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

共通・ 専門科目	講義	室内様式史	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目 的：空間・意匠を形成過程の中で捉え歴史から導かれる思想と概念また常識物を知り現在の空間デザインに取り込み生活空間のセンスをより一層養う。</p> <p>前期目標：歴史から導かれる思想と概念を読み解き、空間・意匠を形成する過程を理解し、演習において空間デザインできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (1 時限)				
週	教程	教程		
1	ガイダンス	ガイダンス		
2	西洋と東洋	歴史・文化の違い		
3	原始美術	古代		
4	西洋の源流	ギリシャ、ローマ		
5	西洋史	中世の美術(ビザンチン、ロマネスク、ゴシック)		
6	西洋史	西洋と東洋の交流・ルネサンスの美術		
7	西洋史	バロック様式・ロココ様式～ビクトリア様式		
8	西洋史	西欧工芸の歴史 ウィリアム・モリスと伝統工芸		
9	西洋近代史	アールヌーボー19世紀末から20世紀初頭の時代背景		
10	西洋近代史	アールデコ 20世紀初頭の時代背景		
11	日本様式史	古代(先史時代)		
12	日本様式史	中世(鎌倉時代、室町時代)		
13	日本様式史	近世(安土・桃山時代)		
14	日本様式史	近代(明治時代、大正時代、昭和時代)		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



共通・ 専門科目	講義	一般構造	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：空間・意匠を形成過程の中で捉え歴史から導かれる思想と概念また常識物を知り現在の空間デザインに取り込み生活空間のセンスをより一層養う。</p> <p>前期目標：歴史から導かれる思想と概念を読み解き、空間・意匠を形成する過程を理解し、演習において空間デザインできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (1 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス 構造理論	建物にはたらく力 応力と反力		
2	構造概論	各種構造の特徴		
3	木構造と主要構造	木造在来工法、主要構造部(基礎)		
4	主要構造	主要構造部(柱、壁)		
5	主要構造	主要構造部(床・屋根)		
6	その他の木質構造と各部の構造	枠組壁工法、金物、各部構造		
7	S 構造の基礎	鉄鋼造の特徴と各構造(ラーメン構造、トラス造、アーチ造)		
8	主要構造	主要構造部(基礎・柱・梁・床)		
9	RC 構造の基礎と各部の構造	コンクリート構造の特徴と各構造(ラーメン構造、壁式コンクリート構造)		
10	主要構造	主要構造部(基礎)		
11	主要構造	その他の構造		
12	主要構造	主要構造部(柱・梁)		
13	主要構造	主要構造部(床)		
14	その他の構造	主要構造部(屋上)		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

共通・ 専門科目	講義	インテリア計画	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアを計画する上で必要な基礎知識並びに住空間について習得させる。</p> <p>前期目標：インテリアエレメント・演習計画について習得し、より良いインテリア空間を計画できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	インテリアの基本		知覚（五感）と空間	
2	インテリアの基本		造形と視覚/錯覚	
3	インテリアの基本		色彩の基本(1)	
4	インテリアの基本		色彩の基本(2)	
5	インテリアの基本		人間工学一寸法計画	
6	インテリアの基本		身長を基準とした高さ等の目安	
7	インテリアの基本		いす	
8	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン	
9	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		玄関・廊下・階段	
10	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		居間	
11	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		食事室・キッチン	
12	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		寝室・子供室他	
13	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		和室	
14	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		エレメント・細部計画	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

共通・ 専門科目	講義	美術・デザイン概論	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：美術とデザインの歴史や様々な実例の理解を通して、デザインの役割と可能性を考察する。意欲的な制作活動への意識作りに繋げることを目的とする。</p> <p>後期目標：デザインの歴史を事例から学び、特徴や成り立ちを読み解き、デザインの役割と可能性を理解し、制作活動へつなげることができる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	日本デザインの歴史		日本史	
2	日本デザインの歴史		日本近代史	
3	西欧デザインの歴史		西洋史(1)	
4	西欧デザインの歴史		西洋史(2)	
5	デザイン史		西洋近代史 新材料を用いた構造物	
6	デザイン史		西洋近代史 ウィリアム・モリスと伝統工芸	
7	デザイン史		西洋近代史 アールデコ	
8	デザイン史		西洋近代史 アメリカ建築の近代化セッション	
9	デザイン史		西洋近代史 セッション・鉄筋コンクリート造	
10	デザイン史		西洋近代史 ドイツ工作連盟・近代建築運動	
11	デザイン史		西洋近代史 アールデコとスカイスクレーパー	
12	デザイン史		西洋近代史 モダニズム建築の完成	
13	デザイン史		西洋近代史 戦後のデザイン・ポストモダニズム	
14	美術史／工芸史		美術家、工芸家	
15	まとめ			

共通・ 専門科目	講義	家具様式	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：家具の全般的知識と歴史的様式デザインを理解させ、家具の設計演習を行うことにより、家具のそれぞれ備えている機能等についての意義を習得させる。</p> <p>後期目標：家具の種類、構造、材料について理解し、家具全般の知識を習得することで、家具を計画できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	家具の歴史		古代から中世における家具の推移及び特徴	
2	家具の歴史		中世から近代における家具の推移及び特徴	
3	家具の歴史		近代から現代における家具の推移及び特徴	
4	家具の歴史		現代の家具の特徴	
5	人間工学		家具における人体寸法	
6	家具のレイアウトと視線		家具配置と人間の動作範囲と視線	
7	家具の名称		家具の種類(椅子、テーブル、箱物)	
8	家具の名称		住宅・寝室・オフィスにおける家具	
9	家具構造		椅子の構造と名称	
10	家具構造		デスク、テーブルの構造	
11	家具材料		木材材料の種類と性質、加工方法	
12	家具金物		家具金物の用途と種類	
13	家具の仕上		塗装、メッキ	
14	消費者関連法規		表示マーク	
15	まとめ			

共通・ 実習科目	実習	基礎製図	1 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目的：建築インテリアの図面トレースを通じ、後期以降の本格的な設計課題のための基礎を学ぶ。JIS 規格製図法に則して記号やルールを習得し、建築設計、インテリア設計の基礎製図法を習得させる。</p> <p>前期目標：建築インテリアの図面トレースを通じ、各種図面の役割と製図法を理解し、JIS 規格製図法に則した各種図面を描けるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	製図の基本	製図道具の説明・線の練習(1)		
2	製図の基本	線の練習(2)		
3	製図の基本写図	図面記号		
4	製図の基本写図	家具三面図		
5	製図の基本写図	平面図(1)		
6	製図の基本写図	平面図(2)		
7	製図の基本写図	立面図		
8	製図の基本写図	断面図		
9	製図の基本写図	展開図		
10	製図の基本写図	天井伏図		
11	製図の基本写図	矩計図(1)		
12	製図の基本写図	矩計図(2)		
13	製図の基本写図	1 階小屋伏 2 階床伏図(1)		
14	製図の基本写図	1 階小屋伏 2 階床伏図(2)		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

共通・ 実習科目	実習	インテリアエレメント	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：インテリアに必要な不可欠な素材の特徴と加工方法を理解し、かたちと材質感の整合を図り、基本形態に留意したデザインと作品制作に努め、意欲的な制作活動への意識作りに繋げることを目的とする。</p> <p>前期目標：デザインの基本的なプロセスを理解して基本的な加工方法を習得し、デザインを形にできるようにする。</p> <p>後期目標：前期から引き続いて、素材ならびに形態研究に加えて、異種素材の研究や 機能性のある生活用品をデザインできるようにする。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	ガイダンス		
2	油土・紙を用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク(エスキース・油土・紙)		
3	スチロールを用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク(エスキース・油土)		
4	スチロールを用いた形態デザイン	制作実習 加工(1)		
5	スチロールを用いた形態デザイン	制作実習 加工(2)		
6	スチロールを用いた形態デザイン	制作実習 仕上(塗装)		
7	木を用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク(エスキース・油土)		
8	木を用いた形態デザイン	制作実習 加工(1)		
9	木を用いた形態デザイン	制作実習 加工(2)		
10	木を用いた形態デザイン	制作実習 加工(3)		
11	木を用いた形態デザイン	制作実習 加工(4)		
12	木を用いた形態デザイン	制作実習 仕上(塗装・研磨・装飾)		
13	金属を用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク		
14	金属を用いた形態デザイン	制作実習 型製作・流し込み		
15	金属を用いた形態デザイン	制作実習 仕上げ		
後 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	ガイダンス		
2	樹脂を用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク		
3	樹脂を用いた形態デザイン	制作実習 モックアップ		
4	樹脂を用いた形態デザイン	制作実習 型取り		
5	樹脂を用いた形態デザイン	制作実習 流し込み		
6	樹脂を用いた形態デザイン	制作実習 仕上げ		
7	樹脂を用いた形態デザイン	制作実習 仕上げ(塗装)		
8	石材を用いた形態デザイン	素材の概論、デザインワーク		
9	石材を用いた形態デザイン	制作実習 加工(1)		
10	石材を用いた形態デザイン	制作実習 加工(2)		
11	石材を用いた形態デザイン	制作実習 仕上		
12	形態デザイン演習	素材の概論、デザインワーク		
13	形態デザイン演習	制作実習 加工(1)		
14	形態デザイン演習	制作実習 加工(2)		
15	形態デザイン演習	制作実習 仕上		

共通・実習科目	実習	レンダリング	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：空間構成や形態、色、質感、デザインを表現するために透視図法、多種の着彩技法を学び、インテリアデザインのイメージや、自己の作品を第三者へ視覚伝達する能力を養い表現できるようになる。</p> <p>前期目標：各種透視図法と表現技法を理解し、適宜に図法を選択し描けるようになる。</p> <p>後期目標：前期の各種透視図法と表現技法理解した上で多種の着彩技法を学び、適宜に着彩方法を選択し表現をできるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		<p>工務店・設計事務所を中心に公共施設や住宅の手書きによるパース制作を手掛けている。</p> <p>※後期のみ実務家教員による授業</p>		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		使用用具の理解	
2	透視図概論		投影法、透視図法用語及び概論の理解	
3	平行透視足線法		立体物パース演習	
4	平行透視足線法		外観パース演習	
5	平行透視足線法		内観パース演習(1)	
6	平行透視足線法		内観パース演習(2)	
7	成角透視足線法		立体物パース演習	
8	成角透視足線法		外観パース演習	
9	成角透視足線法		内観パース演習(1)	
10	成角透視足線法		内観パース演習(2)	
11	成角透視足線法		内観パース演習(3)トレースアップ・コーディネート演習	
12	グリッド法		内観パース演習(1)	
13	グリッド法		内観パース演習(2)	
14	グリッド法		内観パース演習(3)トレースアップ・コーディネート演習	
15	実技試験		平行透視、成角透視の実技試験	
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス カラーチャート作成		道具の説明・色の説明・溝引き練習	
2	水彩表現技法 演習 1		部分パース転写・着彩	
3	水彩表現技法 演習 2		部分パース転写・着彩	
4	水彩表現技法 演習 3		部分パース転写・着彩	
5	水彩表現技法 演習 4		部分パース転写・着彩	
6	水彩表現技法 演習 5		部分パース転写・着彩	
7	インテリア表現方法演習 1		インテリアパース転写	
8	インテリア表現方法演習 1		インテリアパース着彩	
9	インテリア表現方法演習 1		インテリアパース着彩	
10	インテリア表現方法演習 2		インテリアパース転写	
11	インテリア表現方法演習 2		インテリアパース着彩	
12	インテリア表現方法演習 2		インテリアパース着彩	
13	インテリア表現方法演習 3		インテリアパース転写	
14	インテリア表現方法演習 3		インテリアパース着彩	
15	インテリア表現方法演習 3		インテリアパース着彩	

共通・ 実習科目	実習	CAD 製図	1 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目的：VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようにする。</p> <p>前期目標：実習を通しコンピュータの機能・基本操作を習得し、Windows、CAD の操作・図面作成方法を理解し、後期の活動につなげるものとする。</p> <p>後期目標：実習を通しコンピュータの基本操作を習得し、VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	PC セットアップ	概要	スタートアップ作業	
2	PC セットアップ	基礎操作	アプリケーションインストール	
3	PC セットアップ	基礎操作	プリンタ・ネットワーク設定	
4	CAD セットアップ		セットアップ作業	
5	CAD の基本操作		線分・図形・選択	
6	CAD の基本操作		ダブルライン・線種・用紙設定	
7	CAD の基本操作		トリム・延長・切り欠き・貼り合わせ	
8	CAD による作図		住宅写図 平面図(1)	
9	CAD による作図		住宅写図 平面図(2)	
10	CAD による作図		住宅写図 立面図(1)	
11	CAD による作図		住宅写図 立面図(2)	
12	CAD による作図		住宅写図 断面図(1)	
13	CAD による作図		住宅写図 断面図(2)	
14	CAD による作図		住宅写図 展開図(1)	
15	CAD による作図		住宅写図 展開図(2)	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



共通・ 実習科目	実習	基礎造形	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：デザインにおける基礎的な表現方法・考え方をあらゆる形で学び、自己表現の確立とインテリアに於ける造形力と創造力を養うと共に様々な形での表現ができるようになる。</p> <p>前期目標：デッサンや構成演習を通して表現方法・考え方を習得し、イメージを作品にして形にできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス・点と線の合成		スケジュール説明	
2	スケッチの基礎		形の取り方(1)	
3	スケッチの基礎		形の取り方(2)	
4	スケッチの基礎		調子の取り方(1)	
5	スケッチの基礎		調子の取り方(2)	
6	演習課題 平面構成		構成エスキース	
7	演習課題 平面構成		部材加工・組み立て	
8	演習課題 平面構成		作図（表現・構成）	
9	演習課題 立体構成		構成エスキース	
10	演習課題 立体構成		部材加工・組み立て	
11	演習課題 立体構成		作図（表現・構成）	
12	演習課題 空間構成		構成エスキース	
13	演習課題 空間構成		部材加工・組み立て	
14	演習課題 空間構成		部材加工・組み立て	
15	演習課題 空間構成		作図（表現・構成）	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

インテリア選 択・専門科目	講義	基礎力学	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：単純な静定構造物の部材の変形形状と部材の断面に生じる応力度、座屈、ひずみ、不静定構造物の解析方法を理解し数値として把握できるようになる。</p> <p>後期目標：前期に引き続き静定構造物(梁、ラーメン、トラス)の内力計算をし、部材断面に生じる応力度、座屈、ひずみまでの解析方法を理解し算出できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （1 時限）				
週	教程	教程内容		
1	静定構造物の応用	単純梁の応用、片持梁の応用		
2	静定構造物の応用	静定ラーメンの応用		
3	断面形が持つ構造性能	図心、断面1次モーメント		
4	断面形が持つ構造性能	断面2次モーメント、断面係数		
5	応力とひずみ	ひずみ度曲線、フックの法則、ヤング係数		
6	応力とひずみ	ポアソン比、せん断ひずみ度、許容応力度		
7	静定トラスに生じる力	節点法、図解法、切断法		
8	応力と応力度	軸応力度、ふち応力度せん断応力度、曲げ応力度		
9	応力と応力度	曲げ応力度		
10	座屈	座屈荷重		
11	座屈	断面二次モーメント、座屈長さ		
12	たわみ	たわみ角の計算式、たわみの求め方		
13	不静定構造物	基礎的解法、剛度		
14	不静定構造物	弾性と塑性		
15	まとめ			

インテリア選 択・専門科目	講義	建築法規	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：建築・インテリアに関わる基本的な法規と内装に関わる構法についてを理解させ、設計やデザインに対する運用力を養い、その応用力を今後のデザイン活動に活用できるようにする。</p> <p>後期目標：建築・インテリアの内装にかかる基本的な法規を理解できるようにする。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		インテリアにおける関係法規	
2	建築基準法 概要		単体規定、集団規定について	
3	用語の定義		特殊建築物、居室、主要構造部、延焼のおそれのある部分	
4	都市計画区域内の制限		用途地域	
5	建築物を建てるための手続きについて		確認申請、開発許可申請	
6	形態の制限規定		建築面積、床面積、容積率 建蔽率	
7	環境衛生の規定		居室採光、換気、天井高、湿気	
8	地下室、地階		地下の定義、容積率の緩和、防湿の措置	
9	避難施設		階段及び手すり	
10	内装制限		準不燃材料と不燃材料、制限を受ける範囲	
11	換気設備		シックハウス対策	
12	消防法		概要、インテリア関係の規定	
13	消防用設備		排煙設備、非常用出入口・防災警報器、設備の位置構造	
14	その他法令		品確法・区分所有法・バリアフリー法・その他	
15	まとめ			

インテリア選択・専門科目	講義	店舗計画	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：店舗(飲食・物品販売・その他)計画の基本と演出の仕方を習得させ、自由設計でより良い店舗計画ができるようになる。</p> <p>後期目標：店舗計画の基本を理解し、各種店舗の計画と演出をできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	店舗構成	店舗の歴史、現代における物販店		
2	店舗構成	店舗・商業施設の種類と分類		
3	物品販売店の導入部	立地店舗運営のポイント		
4	物品販売店の導入部	店舗づくりの流れ		
5	物品販売店の導入部	レイアウトの重要性		
6	物品販売店の導入部	内装デザインのポイント		
7	物品販売店の外部計画	ファサード		
8	物品販売店の外部計画	アプローチ、ショーウィンドー		
9	物品販売店の内部計画	平面計画		
10	物品販売店の内部計画	販売方法・陳列方法		
11	店舗サイン計画	外部サイン計画、サインの種類と特徴		
12	店舗サイン計画	内部サイン計画、サインの種類と特徴		
13	関連法規と店舗用語	店舗計画の法規留意点		
14	物品販売店計画演習	特別講師による実践的課題の実施(1)		
15	物品販売店計画演習	特別講師による実践的課題の実施(2)		

インテリア選 択・専門科目	講義	コンサルティング	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：設計の原点はマーケティングに基づくプロデュースが要諦である。基本から応用へ結びつくよう演習を行いマーケティングの基礎を理解し身に付けさせ様々なビジネスシーンに戦略・戦術として活用させることを第一義とする。</p> <p>後期目標：企業活動から経済循環までの経済の基本を理解し、マーケティングの分析と仕組みづくりを理解する。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		基本概念の理解とコミュニケーションを図る	
2	コンサルティングとは		コンサルティングを学ぶ意義	
3	コンサルティングとは		標準化の意義、役割	
4	問題解決解決に至る道		現状の理解から実行に至るまで	
5	問題解決解決に至る道		効果測定、PDCA サイクル	
6	社会構成要素		経済循環(1)	
7	社会構成要素		経済循環(2)	
8	社会構成要素		経済循環(3)	
9	社会構成要素		企業活動(1)	
10	社会構成要素		企業活動(2) コンプライアンス	
11	社会構成要素		企業活動(3) 経済活動	
12	マーケティング概論		マーケティングプロセス(1)	
13	マーケティング概論		マーケティングプロセス(2)	
14	マーケティング概論		マーケティングプロセス(3)	
15	マーケティング概論		マーケティングプロセス(4)	

インテリア選 択・実習科目	実習	基礎製図	1 学年	後期
目的・目標（指標）	目的：JIS 規格製図法に則して記号やルールを習得し、設計できるようになる。 後期目標：前期の基礎学力を生かし自由設計を通して、計画や図書作成の方法を学び 建築、インテリアに必要なプレゼンテーションテクニックと空間構成を習 得する。			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	課題説明・与条件整理		
2	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	配置図・平面図（1）		
3	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面図（2）		
4	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面図（3）		
5	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（1）		
6	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（2）		
7	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（3）		
8	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（1）		
9	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（2）		
10	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（3）		
11	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	パース・エレメント計画（1）		
12	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	パース・エレメント計画（2）		
13	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	詳細図作成（1）		
14	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	詳細図作成（2）		
15	まとめ			

インテリア選 択・実習科目	実習	CAD 製図	1 学年	後期
目的・目標（指標）	目的：VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようにする。 後期目標：実習を通しコンピュータの基本操作を習得し、VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようになる。			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	VectorWorks の操作 応用	3D 入力説明		
2	VectorWorks の操作 応用	柱状体・回転体		
3	VectorWorks の操作 応用	多段柱状体・錘状体他		
4	VectorWorks の操作 応用	削り取り・噛合わせ・面取り・フィレット		
5	VectorWorks の操作 応用	テクスチャマッピング		
6	VectorWorks の操作 応用	レンダークメラ・レンダリング		
7	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 平面図作図(1)		
8	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 平面図作図(2)		
9	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 立面図作図(1)		
10	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 立面図作図(2)		
11	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 断面図作図(1)		
12	CAD による作図	木造 2 階建て住宅 断面図作図(2)		
13	CAD による作図	パース(1)		
14	CAD による作図	パース(2)		
15	まとめ			

ファニチュア 選択・専門科 目	実習	家具モデリング	1 学年	後期
目的・目標 (指標)		目的：デッサンの基礎を通して、家具のデザインと仕組みを学び、テクニックを身に付ける。 後期目標：自分がデザインした家具を素描にて、描くことが出来るようにする。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (1 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	家具モデリングについて		
2	デッサン	円筒形雑貨 (ポット) を描く (1)		
3	デッサン	円筒形雑貨 (ポット) を描く (2)		
4	デッサン	円筒形雑貨 (ポット) を描く (3)		
5	デッサン	円筒形雑貨 (ポット) を描く (4)		
6	デッサン	円筒形雑貨 (ポット) を描く (5)		
7	デッサン	ジグザグ椅子を描く (1)		
8	デッサン	ジグザグ椅子を描く (2)		
9	デッサン	ジグザグ椅子を描く (3)		
10	デッサン	ジグザグ椅子を描く (4)		
11	デッサン	ジグザグ椅子を描く (5)		
12	デッサン	ジグザグ椅子を描く (6)		
13	デッサン	椅子を描く (自由選択) (1)		
14	デッサン	椅子を描く (自由選択) (2)		
15	まとめ			



ファニチュア 選択・実習科 目	実習	基礎（家具）製図	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：家具の図面トレースを通じ、本格的な設計課題のための基礎を学ぶ。JIS 規格製図法に則して記号やルールを習得し、家具、雑貨における基礎製図法を習得できる。</p> <p>後期目標：家具の図面トレースを通じ、各種図面の役割と製図法を理解し、JIS 規格製図法に則した各種図面を描けるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	製図の基本	製図道具の説明・線の練習(1)		
2	製図の基本	線の練習(2)		
3	製図の基本	線の練習(3)		
4	家具の基本写図	図面記号		
5	家具の基本写図(椅子)	三面図 平面図(1)		
6	家具の基本写図(椅子)	三面図 平面図(2)		
7	家具の基本写図(椅子)	三面図 側面図(1)		
8	家具の基本写図(椅子)	三面図 側面図(2)		
9	家具の基本写図(椅子)	三面図 正面図		
10	家具の基本写図(収納家具)	三面図 平面図		
11	家具の基本写図(収納家具)	三面図 側面図		
12	家具の基本写図(収納家具)	三面図 正面図		
13	家具の基本写図(収納家具)	三面図 平面図・正面図		
14	家具の基本写図(収納家具)	三面図 側面図		
15	家具の基本写図(収納家具)	詳細図		

ファニチュア 選択・実習科 目	実習	家具製作 I	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：カトラリー製作を通して多くの木々を知る。カトラリーづくりの技術を学び、2年次に向けての応用技術を習得させ作品を製作することができるようになる。</p> <p>後期目的：箸・スプーン・ナイフなどを木で作る。そのためのカンナ研ぎや道具の手入れを学び、整理整頓ができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	カトラリーの基礎学習	生活におけるカトラリーの役割		
2	カトラリーの基礎学習	カトラリーのデザイン		
3	カトラリーの基礎学習	木の性質を知る		
4	カトラリーのエスキース	デザイン・大きさの決定		
5	カトラリーのエスキース	材料の選定・工程確認		
6	材料の選定	材料に墨つけ		
7	材料の選定	材料の加工順番		
8	道具の使い方	カンナの台直し・刃研ぎ・削り方		
9	加工	バンドソーの使い方と切り方		
10	加工	ベルトサンダーの使い方と削り方		
11	加工	木の彫り方		
12	加工	継手のやり方		
13	加工	埋めきの仕方		
14	磨き	完成品としての仕上げ方		
15	講評会	プレゼンテーション		

ファニチュア 選択・実習科 目	実習	家具製作Ⅱ	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：家具製作における手工具の使用方法和基本的な接合方法の加工技術を習得して、仕口を用いた木材加工をおこなえるようになる。</p> <p>後期目標：3級技能検定試験（家具製作）範囲の制作及び加工を行えるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		木工製作所で数々の家具や木製品の製作を行っている。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	道具の使い方	ガイダンス・材料切断・道具の使い方		
2	二方胴付きホゾ接ぎ加工	接ぎ加工説明・ホゾ穴加工説明		
3	包み片蟻形相欠き接ぎの説明	蟻定規使い方・加工手順確認		
4	技能検定試験実技実習①	各部材ごと加工練習		
5	技能検定試験実技実習②	加工練習①		
6	技能検定試験実技実習③	加工練習②		
7	技能検定試験実技実習④	加工練習③		
8	技能検定試験実技実習⑤	加工練習④		
9	技能検定試験実技実習⑥	加工練習⑤		
10	技能検定試験実技実習⑦	加工練習⑥		
11	技能検定試験実技実習⑧	加工練習⑦		
12	技能検定試験実技実習⑨	加工練習⑧		
13	技能検定試験実技実習⑩	加工練習⑨		
14	技能検定試験実技実習⑪	加工練習⑩		
15	まとめ			

共通・ 実習科目	実習	コンピュータグラフィックス	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：空間表現に必要なCGソフトウェアの基本操作を学び、内観CGパースが描けるようになる。</p> <p>前期目標：簡単な立体づくりを通して基本的操作技術を習得し、内部空間あるいは家具のモデリングができるようになる。</p> <p>後期目標：3D・CG空間での空間制作を通し、より実在感のある内部空間あるいは家具のモデリングができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	PC 調整作業		
2	PC ソフト調整・画像調整ソフトウェア操作	Photoshop ベーシック操作(1)		
3	画像調整ソフトウェア操作	Photoshop ベーシック操作(2)		
4	画像調整ソフトウェア操作	Photoshop ベーシック操作(3)		
5	CAD による作図演習	Vectorworks 操作・スキャン作業		
6	CAD による作図演習	ビューポート解説・作成		
7	CAD による作図演習	展開図ビューポート解説・作成		
8	CAD による作図演習	ビューポート編集作業(1)		
9	CAD による作図演習	ビューポート編集作業(2)		
10	CAD による作図演習	ビューポート編集作業(3)		
11	CAD による作図演習	ビューポート編集作業(4)		
12	進級課題パースモデリング	図形入力(1)		
13	進級課題パースモデリング	図形入力(2)・テクスチャマッピング		
14	進級課題パースモデリング	レンダリング		
15	まとめ			
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	演習課題 住空間モデリング	図形入力(1)		
2	演習課題 住空間モデリング	図形入力(2)		
3	演習課題 住空間モデリング	図形入力(3)		
4	演習課題 住空間モデリング	モデリングデータ調整		
5	演習課題 住空間モデリング	テクスチャマッピング		
6	演習課題 住空間モデリング	レンダリング		
7	CAD 操作技能検定実習①	検定試験内容説明		
8	CAD 操作技能検定実習②	試験過去問解説(1)		
9	CAD 操作技能検定実習③	試験過去問解説(2)		
10	CAD 操作技能検定実習④	検定試験受検		
11	進級課題パースモデリング	図形入力(1)		
12	進級課題パースモデリング	図形入力(2)		
13	進級課題パースモデリング	図形入力(3)・テクスチャマッピング		
14	進級課題パースモデリング	レンダリング		
15	講評会	プレゼンテーション		

共通・ 実習科目	実習	ドローイングテクニック	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアパースに必要なドローイングを重視した表現方法を習得する。加えて、家具デザインにおけるプレゼン技法に留意し、自身が設計した空間や家具を平面ドローイングによって表現できるようになる。</p> <p>後期目標：インテリアパースや家具を平面ドローイングによって表現できるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		工務店・設計事務所を中心に公共施設や住宅の手書きによるパース制作を手掛けている。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 （3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	一消点パースガイド作成		ガイド作成手法説明	
2	内観パース演習課題 リビング		インテリア構成エスキース	
3	内観パース演習課題 リビング		インテリアドローイング(1)	
4	内観パース演習課題 リビング		インテリアドローイング(2)	
5	内観パース演習課題 リビング		コピックマーカによる着彩(1)	
6	内観パース演習課題 リビング		コピックマーカによる着彩(2)	
7	内観パース演習課題 店舗客席		インテリアドローイング(1)	
8	内観パース演習課題 店舗客席		インテリアドローイング(2)	
9	内観パース演習課題 店舗客席		コピックマーカによる着彩(1)	
10	内観パース演習課題 店舗客席		コピックマーカによる着彩(2)	
11	進級課題 内観パース		インテリアドローイング(1)	
12	進級課題 内観パース		インテリアドローイング(2)	
13	進級課題 内観パース		コピックマーカによる着彩(1)	
14	進級課題 内観パース		コピックマーカによる着彩(2)	
15	まとめ			

I D・ 専門科目	講義	店舗計画	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：1 学年の計画と演習を基本とし店舗（飲食・物品販売・その他）計画の基本とマーケティングを考え実践向きの店舗計画を習得させ、店舗の計画ができるようになる。</p> <p>前期目標：店舗計画の基本を理解し、計画演習で実践的な店舗計画をできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	物販店/外部計画・導入部	敷地とプランニング		
2	外部計画・導入部	サイン計画		
3	内部計画	プランニングタイプ(1)		
4	内部計画	プランニングタイプ(2)		
5	内部計画	ショーウィンドー		
6	飲食店/外部計画・導入部	敷地とプランニング		
7	外部計画・導入部	サイン計画		
8	内部計画	プランニングタイプ(1)		
9	内部計画	プランニングタイプ(2)		
10	厨房・食品衛生法	法規について		
11	厨房・食品衛生法	寸法や仕上げ等について		
12	飲食店計画演習	店種選択		
13	飲食店計画演習	店舗調査		
14	飲食店計画演習	マトリックス設定・レポート作成		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

I D・ 専門科目	講義	インテリア材料	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアに関する材料の特性を理解する。</p> <p>前期目標：主にインテリアの内装材に使用される材料について、性質や用途などの基礎知識を身に付け、加えて建築構造材について習得し、材料計画ができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	インテリア材料 床材		機能と性能、分類	
2	インテリア材料 床材		木質、樹脂	
3	インテリア材料 床材		タイル、石材	
4	インテリア材料 床材		プラスチック系	
5	インテリア材料 床材		カーペット、畳	
6	インテリア材料 床材		金属	
7	インテリア材料 壁材		左官、塗り壁	
8	インテリア材料 壁材		壁紙、その他	
9	インテリア材料 天井材		天井仕上材料の性質と種類	
10	建築構造材		木造建築、種類、構造	
11	建築構造材		木材の性質、その他の木質系	
12	建築構造材		鉄骨造・RC 造	
13	その他の材料		ガラス	
14	その他の材料		塗装材料	
15	まとめ			
後 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

I D・ 専門科目	講義	インテリア施工・積算	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）	<p>目的：設計図書や仕様書の内容など施工・積算に関する基礎を理解する。  前期目標：設計された建築物の安全と品質、及び経済性を確保する積算の基礎と合わせて工事を進めていく上での標準仕様の理解及び工事管理についての基礎知識を理解する。  後期目標：設計事例に合わせた積算方法に留意し、部分別積算に特化した内装工事に重点を置くことを目的とし、具体的な積算ができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	施工計画	工事の流れ		
2	施工計画	工程計画		
3	工程管理	施工計画		
4	工程管理	基礎工事		
5	工程管理	基礎工事の積算		
6	構造理解	特徴について 木 造		
7	構造理解	特徴について 鉄骨造		
8	構造理解	特徴について R C 造		
9	外装工事	屋根工事及び積算		
10	外装工事	外壁工事及び積算(1)		
11	外装工事	外壁工事及び積算(2)		
12	内装工事	軽量鉄骨間仕切り		
13	内装工事	石膏ボードと仕上げ、床天井仕上げ		
14	内装工事	設備機器関連		
15	まとめ			
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	マンションリフォーム	全体の注意点		
2	マンションリフォーム	構造との注意点		
3	マンションリフォーム	間仕切り壁(軽量鉄骨)		
4	マンションリフォーム	写図(1)		
5	マンションリフォーム	写図(2)		
6	仕上げと下地	石膏ボード下地		
7	仕上げと下地	その他の下地		
8	部分詳細	部材等の材料と寸法 カウンター		
9	部分詳細	部材等の材料と寸法 建具		
10	部分詳細	部材等の材料と寸法 サッシ		
11	部分詳細	部材等の材料と寸法 浴室		
12	内装工事の積算	積算手順説明		
13	内装工事の積算	計算方法		
14	内装工事の積算	床材の積算(1)		
15	内装工事の積算	床材の積算(2)		



I D・ 専門科目	講義	インテリア環境・設備	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：建築を通してインテリアの環境を形成する物理的・心理的知見を整理し、建築計画とデザインに役立てた設計のあり方を理解する。</p> <p>前期目標：環境工学における、光環境、空気・温熱環境、音環境について理解する。</p> <p>後期目標：設備計画における、電気や給排水、衛生、ガス供給、空調、換気等の基礎的な知識を理解する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	建築設備とインテリア		インテリア設備とは	
2	地球環境と設備		環境問題	
3	地球環境におけるインテリアの係わり		住空間における設備と環境	
4	インテリアの空調設備		空調の種類と特徴	
5	インテリアの室内環境		換気設備の種類と特徴	
6	インテリアの空調機器の特徴		機器の特徴	
7	インテリアの喚起・排煙		法規等	
8	インテリアの自動制御		機器と種類	
9	インテリアの熱環境		環境工学について	
10	インテリアの熱の流れ		熱還流について	
11	インテリアの熱特性		種類等	
12	湿気環境		材料との関係性	
13	室内環境		結露	
14	室内環境		音と環境	
15	まとめ			
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	建築と室外環境		外気と環境	
2	室内気候		換気と汚染(1)	
3	室内気候		換気と汚染(2)	
4	室内環境と熱		性質	
5	室内環境と熱		断熱性・気密性	
6	室内環境と採光		遮蔽	
7	室内環境と採光		窓	
8	室内環境と換気		快適条件	
9	室内環境と換気		換気量	
10	室内環境と音		音の性質	
11	室内環境と音		騒音	
12	換気設備		法規・種類	
13	空気調和設備、暖房設備		種類と特徴	
14	給水・給湯設備・排水設備		種類と特徴	
15	消火設備、人工照明、電気設備		種類と特徴	

ID・ 専門科目	講義	マーケティングリサーチ	2 学年	後期
目的・目標（指標）		目的：インテリアに関わる基本的なリサーチを理解する。 後期目標：設計やデザインに対する運用力や、マーケティングに関わる社会状況について学習しその応用力を身に付ける。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	マーケティングとは		MD について	
2	マーケティングとは		ディスプレイとは	
3	マーケティングとは		ディスプレイ手法	
4	マーケティングとは		VMD について	
5	ショップリサーチ		店舗の流行	
6	ショップリサーチ		敷地と店舗の関係と材料	
7	リサーチ演習課題	ショーウィンドー	調査内容整理・考察	
8	リサーチ演習課題	ショーウィンドー	レポート資料作成	
9	リサーチ演習課題	ショーウィンドー	プレゼンテーション	
10	リサーチ演習課題	VMD	調査内容整理・考察(1)	
11	リサーチ演習課題	VMD	考察(2)	
12	リサーチ演習課題	VMD	レポート資料作成	
13	リサーチ演習課題	VMD	プレゼンテーション	
14	進級課題におけるマーケティングリサーチ		調査・考察	
15	進級課題におけるマーケティングリサーチ		プレゼンテーション資料作成	

I D・ 専門科目	講義	企業・事業概論	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：実際の就職活動や業界動向など基礎知識を習得し、建築・インテリア関連の業界を理解する。</p> <p>後期目標：インテリア関連に従事する為の企業や事業を調査し、将来の方向性や進路を考えるための基礎的な知識や情報を習得することができる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		ビジネスマナーについて	
2	企業概論		経営概論資本主義とグローバル経済	
3	企業概論		上場企業とインテリア業種	
4	企業概論		建築業界とインテリア業界	
5	企業概論		デザイン・設計事務所	
6	企業概論		ディスプレイ業界	
7	企業概論		住宅メーカー・不動産メーカー	
8	インテリアと企業の関係		インテリアの職域	
9	インテリアと企業の関係		エントリーシート・自己推薦文	
10	インテリア業界と就職活動		企業訪問マナー	
11	インテリア業界と就職活動		就職活動	
12	インテリア業界と就職活動		SNS サイトを利用した活動方法	
13	就職と人生設計		ライフプラン・転職	
14	就職と人生設計		自己分析	
15	安全管理について		安全管理の基本	

I D・ 専門科目	実習	基礎製図	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：1 学年の基礎を生かし RC 造の設計・計画に関する知識と技術を身に付ける。</p> <p>前期目標：RC 造の設計・計画を通して、計画や図書作成の方法を学び、建築、インテリアに必要なプレゼンテーションテクニックと空間構成を習得し、表現できるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		建築設計業を中心として数々の住宅設計・監理を手掛けている		
指 導 内 容				
前 期 （3 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	RC 造貸事務所リニューアル課題		概要説明・法規確認	
2	RC 造貸事務所リニューアル課題		配置図・平面図(1)	
3	RC 造貸事務所リニューアル課題		平面図(2)	
4	RC 造貸事務所リニューアル課題		平面図(3)	
5	RC 造貸事務所リニューアル課題		立面図・断面図(1)	
6	RC 造貸事務所リニューアル課題		立面図・断面図(2)	
7	RC 造貸事務所リニューアル課題		平面詳細図(1)	
8	RC 造貸事務所リニューアル課題		平面詳細図(2)	
9	RC 造貸事務所リニューアル課題		平面詳細図(3)	
10	RC 造貸事務所リニューアル課題		展開図	
11	RC 造貸事務所リニューアル課題		天井伏図	
12	RC 造貸事務所リニューアル課題		パース・エレメント計画(1)	
13	RC 造貸事務所リニューアル課題		プレゼンボード作成(1)	
14	RC 造貸事務所リニューアル課題		プレゼンボード作成(2)	
15	まとめ			
後 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

I D・ 実習科目	実習	デザイン実習（雑貨）	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：身の回りにある生活雑貨のデザインを行い提案できるようになる。</p> <p>前期目標：デザインの基本構造、基本要素について学ぶ。また、造形的要素について理解を深め、実際にイメージのもたらす様々な効果について課題制作を通して体得し、計画できるようになる。</p> <p>後期目標：前期より継続し、インテリアに於ける生活空間を踏まえ、身の回りにある生活雑貨のデザインを行い提案する。加えてモックアップによる造形的確認をおこない、計画・製作できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（6 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	表現演習		色彩に関する実践練習(1)、デッサン(1)	
2	表現演習		色彩に関する実践練習(2)、デッサン(2)	
3	表現演習		色彩に関する実践練習(3)、デッサン(3)	
4	表現演習		展開図製作、デッサン(4)	
5	演習課題	紙	企画・エスキース	
6	演習課題	紙	モックアップ製作	
7	演習課題	顔	企画・エスキース	
8	演習課題	顔	モックアップ製作	
9	演習課題	アルファベット	企画・エスキース	
10	演習課題	アルファベット	モックアップ製作	
11	演習課題	グリーティングカード	企画・エスキース(1)	
12	演習課題	グリーティングカード	企画・エスキース(2)	
13	演習課題	グリーティングカード	モックアップ製作	
14	演習課題	グリーティングカード	プレゼンテーションボード製作	
15	まとめ			
後 期（6 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	演習課題	コミュニケーションツール	企画・エスキース(1)	
2	演習課題	コミュニケーションツール	企画・エスキース(2)	
3	演習課題	コミュニケーションツール	モックアップ製作(1)	
4	演習課題	コミュニケーションツール	モックアップ製作(2)	
5	演習課題	コミュニケーションツール	モックアップ製作(3)	
6	演習課題	コミュニケーションツール	プレゼンテーションボード製作	
7	進級課題	バレンタイン企画雑貨	企画・エスキース(1)	
8	進級課題	バレンタイン企画雑貨	企画・エスキース(2)	
9	進級課題	バレンタイン企画雑貨	企画・エスキース(3)	
10	進級課題	バレンタイン企画雑貨	モックアップ製作(1)	
11	進級課題	バレンタイン企画雑貨	モックアップ製作(2)	
12	進級課題	バレンタイン企画雑貨	モックアップ製作(3)	
13	進級課題	バレンタイン企画雑貨	プレゼンテーションデータ製作(1)	
14	進級課題	バレンタイン企画雑貨	プレゼンテーションデータ製作(2)	
15	まとめ			

I D・ 実習科目	実習	インテリアデザイン設計	2 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目 的：様々なインテリア空間を細部まで把握しデザインできるようになる。</p> <p>前期目標：住宅、店舗、外構等、照明計画の基礎を学び、インテリアデザイン空間をデザインする上での発想やアイデアを重視しながら表現テクニックに留意して照明計画ができるようになる。</p> <p>後期目標：前期で習得した技術・知識を駆使して様々な用途に適したインテリア空間のコーディネートを実習する。照明、家具、什器などのディテールの把握し プレゼンテーションボードを作り上げる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (4 時限)				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ガイダンス		照明の基礎知識	
2	実習課題 店舗の照明計画		スポットライトについて	
3	実習課題 店舗の照明計画		エスキース	
4	実習課題 店舗の照明計画		器具リスト作成	
5	実習課題 店舗の照明計画		展開図作成	
6	実習課題 店舗の照明計画		図面提出	
7	既存店舗のリサーチ、発表		店舗(飲食店)の照明をリサーチ	
8	実習課題 飲食店の照明計画		計画のポイント	
9	実習課題 飲食店の照明計画		エスキース、図面制作 器具リスト、展開図の作成	
10	実習課題 飲食店の照明計画		図面提出	
11	実習課題 屋上空間(外構)の照明計画		エスキース	
12	実習課題 屋上空間(外構)の照明計画		エスキース	
13	実習課題 屋上空間(外構)の照明計画		器具リスト、展開図の作成	
14	実習課題 屋上空間(外構)の照明計画		図面提出	
15	総合提出		図書まとめ・提出指導	
後 期 (4 時限)				
週	教 程		教 程 内 容	
1	RC 住宅設計課題		課題説明	
2	RC 住宅設計課題		既存躯体説明と写図(1)	
3	RC 住宅設計課題		写図(2)	
4	RC 住宅設計課題		エスキース(1)	
5	RC 住宅設計課題		エスキース(2)	
6	RC 住宅設計課題		エスキース(3)	
7	RC 住宅設計課題		平面図(1)	
8	RC 住宅設計課題		平面図(2)	
9	RC 住宅設計課題		平面図(3)	
10	RC 住宅設計課題		平面詳細図(1)	
11	RC 住宅設計課題		平面詳細図(2)	
12	RC 住宅設計課題		各室展開図(1)	
13	RC 住宅設計課題		各室展開図(2)	
14	RC 住宅設計課題		天井伏図(1)	
15	総合提出		図書まとめ・提出指導	

I D・ 実習科目	実習	店舗デザイン設計（飲食・物販）	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：店舗デザインに必要な知識を習得し、企画・提案できるようにする。</p> <p>前期目標：仕上げ材・材料、什器の収まり詳細と構造を考え設計し、店舗（飲食・物品販売・その他）計画の基本と演出の仕方を習得することができる。</p> <p>後期目標：引き続き店舗計画の基本と演出の仕方を習得し、オリジナル性のある店舗設計を行なうことができるようにする。</p>		
実務家教員の実務経験		設計・デザイン事務所を中心として数々の商業施設の設計・監理を手掛けている。		
指 導 内 容				
前 期 （4 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	飲食店について		計画について	
2	飲食店舗図面 写図		平面図	
3	飲食店舗図面 写図		展開図	
4	飲食店舗図面 写図		天井伏図	
5	演習課題 飲食店舗計画		敷地・躯体説明・店舗企画	
6	演習課題 飲食店舗計画		エスキース(1)	
7	演習課題 飲食店舗計画		エスキース(2)	
8	演習課題 飲食店舗計画		平面図(1)	
9	演習課題 飲食店舗計画		平面図(2)	
10	演習課題 飲食店舗計画		展開図	
11	演習課題 飲食店舗計画		天井伏図	
12	演習課題 飲食店舗計画		什器図	
13	演習課題 飲食店舗計画		パース	
14	演習課題 飲食店舗計画		総合提出	
15	まとめ			
後 期 （4 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	物販店について		計画について	
2	演習課題 物品販売店店舗設計		敷地・躯体説明・店舗企画	
3	演習課題 物品販売店店舗設計		エスキース(1)	
4	演習課題 物品販売店店舗設計		エスキース(2)	
5	演習課題 物品販売店店舗設計		平面図(1)	
6	演習課題 物品販売店店舗設計		平面図(2)	
7	演習課題 物品販売店店舗設計		平面図(3)	
8	演習課題 物品販売店店舗設計		展開図(1)	
9	演習課題 物品販売店店舗設計		展開図(2)	
10	演習課題 物品販売店店舗設計		展開図(3)	
11	演習課題 物品販売店店舗設計		天井伏図	
12	演習課題 物品販売店店舗設計		什器図	
13	演習課題 物品販売店店舗設計		パース	
14	演習課題 物品販売店店舗設計		総合提出	
15	まとめ			

ID・ 実習科目	実習	プレゼンテーションテクニック	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：プレゼンテーション技法を習得し、制作された作品の表現力を向上させる。</p> <p>後期目標：PC を利用した作品づくりができるようになり、表現力を向上させられるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	オリエンテーション		授業内容説明・コンピュータ調整作業	
2	コンピュータ演習		PC アプリケーションの基本操作(1)	
3	コンピュータ演習		PC アプリケーションの基本操作(2)	
4	コンピュータ演習		PC アプリケーションの基本操作(3)	
5	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(1)	
6	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(2)	
7	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(3)	
8	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(4)	
9	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(5)	
10	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(6)	
11	コンピュータ演習		PC アプリケーションを使用したデータ入力(7)	
12	作品集作成		全体構成エスキース	
13	作品集作成		データ入力(1)	
14	作品集作成		データ入力(2)	
15	まとめ			



FD・ 専門科目	講義	家具加工・材料	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目 的：家具材料としての木材について学び、製作時の材種選択の知識を向上させる。</p> <p>前期目標：家具の主要材である無垢材の性質と種類を学び、家具材料としての木材の乾燥・保存法を理解させる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	木工材料の概説		概要	
2	木材性質		構造	
3	木材性質		細胞組織・物理的・化学的・機械的	
4	木材の材種		木取り	
5	木材の材種		銘木の知識	
6	木材の材種		製材方法	
7	木材の材種		規格と材料計算法	
8	木材管理		保存方法	
9	木材管理		乾燥の基礎知識	
10	木材管理		天然・人工乾燥	
11	木材管理		乾燥室の種類	
12	木材管理		人工乾燥の操作	
13	木材管理		特殊乾燥	
14	木材管理		腐朽・防虫・防火	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

FD・ 実習科目	実習	ファニチャーデザイン計画	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）	<p>目的：家具の全般的知識と家具デザインができる知識を習得する。  前期目標：家具の形態（ディテール）、図法等の表現方法を理解し、家具デザインが出来る能力を養う。  後期目標：家具の全般的知識とデザインにかかわる内容を理解させ、家具の設計演習を行うことにより、家具のそれぞれの機能についての意義を習得させる。</p>			
実務家教員の実務経験	オフィス家具や特注什器を中心に設計・コンサルティング行っている。			
指 導 内 容				
前 期 （6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	オリエンテーション	家具とデザインについての説明		
2	材料	木材・金属・樹脂の種類と特徴		
3	材料	その他材料の種類と特徴		
4	家具構造	家具の構造		
5	家具構造	家具の部位名称		
6	家具マーケティング	マーケット論		
7	家具マーケティング	ダイアグラム		
8	家具設計	課題説明		
9	家具設計	コンセプト・エスキース		
10	家具設計	構造検討		
11	家具設計	三面図作成		
12	家具設計	モデルレンダリング		
13	家具設計	プレゼンテーションボード作成		
14	家具設計	プレゼンテーション		
15	まとめ			
後 期 （6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	オリエンテーション	デザイン発想法技術指導		
2	椅子原寸図作成	実寸測定		
3	椅子原寸図作成	原寸図作成(1)		
4	椅子原寸図作成	原寸図作成(2)		
5	椅子原寸図作成	原寸図作成(3)		
6	オリジナル家具設計	課題説明・エスキース		
7	オリジナル家具設計	デザイン検討		
8	オリジナル家具設計	三面図作成・ホワイトモデル作成		
9	オリジナル家具設計	構造・スタイリング検討		
10	オリジナル家具設計	三面図修正(1)		
11	オリジナル家具設計	三面図修正(2)		
12	オリジナル家具設計	家具レンダリング(1)		
13	オリジナル家具設計	家具レンダリング(2)		
14	オリジナル家具設計	プレゼンテーションボード作成		
15	まとめ			

FD・ 実習科目	実習	家具製作	2 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：工具・機械の取扱いができ家具が製作できるようになる。</p> <p>前期目標：手工具・機械の取り扱いと加工作業の基本製作を行い、一連の作業手順を習得し、指物家具が製作できるようになる。</p> <p>後期目標：手工具の取り扱いを中心に道具の理解とその作業を習得し、箱物家具が製作できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 （18 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		工具の名称と規格の確認	
2	道具の取り扱いと使用方法		墨付け	
3	道具の取り扱いと使用方法		鋸挽き	
4	道具の取り扱いと使用方法		鉋	
5	道具の取り扱いと使用方法		ノミ	
6	道具の取り扱いと使用方法		刃物研ぎ	
7	仕口・継ぎ手加工		枠組み継ぎ加工	
8	仕口・継ぎ手加工		組み手加工	
9	小抽出し製作		木取り(1)	
10	小抽出し製作		木取り(2)	
11	小抽出し製作		墨付け	
12	小抽出し製作		木材加工(1)	
13	小抽出し製作		木材加工(2)	
14	小抽出し製作		木材加工(3)	
15	まとめ			
後 期 （18 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		デザイン発想法技術指導	
2	椅子原寸図作成		実寸測定	
3	椅子原寸図作成		原寸図作成(1)	
4	椅子原寸図作成		原寸図作成(2)	
5	椅子原寸図作成		原寸図作成(3)	
6	オリジナル家具設計		課題説明・エスキース	
7	オリジナル家具設計		デザイン検討	
8	オリジナル家具設計		三面図作成・ホワイトモデル作成	
9	オリジナル家具設計		構造・スタイリング検討	
10	オリジナル家具設計		三面図修正(1)	
11	オリジナル家具設計		三面図修正(2)	
12	オリジナル家具設計		家具レンダリング(1)	
13	オリジナル家具設計		家具レンダリング(2)	
14	オリジナル家具設計		プレゼンテーションボード作成	
15	まとめ			

共通・ 実習科目	実習	ドローイングテクニック	3 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目的：インテリアパースに必要なドローイングを重視した表現方法を習得する。加えて、家具デザインにおけるプレゼン技法に留意し、自身が設計した空間や家具を平面ドローイングによって表現できるようになる。</p> <p>前期目標：インテリアパースや家具を平面ドローイングから着彩までの技術を習得し、空間表現の完成度を上げることができる。</p>			
実務家教員の実務経験	工務店・設計事務所を中心に公共施設や住宅の手書きによるパース制作を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	二消点パースガイド作成		ガイド作成手法説明	
2	二消点パース演習課題 ベッドルーム		インテリア構成エスキース	
3	二消点パース演習課題 ベッドルーム		インテリアドローイング(1)	
4	二消点パース演習課題 ベッドルーム		インテリアドローイング(2)	
5	二消点パース演習課題 ベッドルーム		コピックマーカによる着彩(1)	
6	二消点パース演習課題 ベッドルーム		コピックマーカによる着彩(2)	
7	二消点パース演習課題 ベッドルーム		コピックマーカによる着彩(3)	
8	一消点パース演習課題 和室		インテリア構成エスキース	
9	一消点パース演習課題 和室		インテリアドローイング(1)	
10	一消点パース演習課題 和室		インテリアドローイング(2)	
11	一消点パース演習課題 和室		インテリアドローイング(3)	
12	一消点パース演習課題 和室		インテリアドローイング(4)	
13	前期進級課題パース作成		ガイド作成・ドローイング	
14	前期進級課題パース作成		着彩	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

ID・ 専門科目	講義	インテリア施工・積算	3 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアに必要な内装工事の積算をできるようになる。  前期目標：2年生より引き続き設計事例に合わせた施行例や積算方法に留意して、インテリアに必要な部分別積算に特化した内装工事に重点を置くことを目的とし、更に具体的に積算ができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	工事着手における事前調査	バーチャート工程表について		
2	マンションリフォーム	リフォームの注意点		
3	マンションリフォーム	リフォームの実例		
4	マンションリフォーム	リフォーム詳細図(1)		
5	マンションリフォーム	リフォーム詳細図(2)		
6	仕上げと下地	主に使用される仕上げ材について		
7	仕上げと下地	下地との関係性について		
8	部分詳細	カウンター詳細について		
9	部分詳細	建具詳細について		
10	部分詳細	サッシ詳細について		
11	部分詳細	浴室詳細について		
12	内装工事の積算	積算について		
13	内装工事の積算	範囲		
14	内装工事の積算	計算方法、演習		
15	まとめ			
後 期				
週	教 程	教 程 内 容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

I D・ 実習科目	実習	デザイン実習（雑貨）	3 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリア空間を意図した雑貨企画・製作ができるようにする。</p> <p>前期目標：各講師による専門分野に特化した課題演習を実施し、加えてインテリアデザイン専攻の集大成を企画できるようになる。</p> <p>後期目標：インテリア空間を意図した作品づくりに留意する。卒業制作における雑貨計画を通して、より現実的な雑貨企画・製作ができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（6 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	演習課題	キャラクターデザイン	企画・エスキース(1)	
2	演習課題	キャラクターデザイン	エスキース(2)	
3	演習課題	キャラクターデザイン	モックアップ製作(1)	
4	演習課題	キャラクターデザイン	プレゼンテーションボード製作	
5	演習課題	キャラクターグッズ	企画・エスキース(1)	
6	演習課題	キャラクターグッズ	エスキース(2)	
7	演習課題	キャラクターグッズ	モックアップ製作(1)	
8	演習課題	キャラクターグッズ	プレゼンテーションボード製作	
9	演習課題	キャラクターグッズ	プレゼンテーション	
10	演習課題	お子様ランチ	企画・エスキース(1)	
11	演習課題	お子様ランチ	エスキース(2)	
12	演習課題	お子様ランチ	モックアップ製作(1)	
13	演習課題	お子様ランチ	モックアップ製作(2)	
14	演習課題	お子様ランチ	プレゼンテーションボード製作	
15	まとめ			
後 期（6 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	卒業制作内雑貨企画		企画立案	
2	卒業制作内雑貨企画		市場調査(1)	
3	卒業制作内雑貨企画		市場調査(2)	
4	卒業制作内雑貨企画		雑貨デザインエスキース(1)	
5	卒業制作内雑貨企画		雑貨デザインエスキース(2)	
6	卒業制作内雑貨企画		雑貨デザインエスキース(3)	
7	卒業制作内雑貨企画		モックアップ製作(1)	
8	卒業制作内雑貨企画		モックアップ製作(2)	
9	卒業制作内雑貨企画		モックアップ製作(3)	
10	卒業制作内雑貨企画		モックアップ製作(4)	
11	卒業制作内雑貨企画		モックアップ製作(5)	
12	卒業制作内雑貨企画		プレゼンテーション用データ作成(1)	
13	卒業制作内雑貨企画		プレゼンテーション用データ作成(2)	
14	卒業制作内雑貨企画		プレゼンテーション用データ作成(3)	
15	まとめ			

I D ・ 実習科目	実習	インテリアデザイン設計	3 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアプランナーの設計製図試験問題から、個々に用途を選び、設題されている要件を満たしインテリア空間を提案できるようになる。</p> <p>前期目標：設計課題に対する理解・解釈を明確に示すとともに計画案・設計案に対する考え方・視点を明確にした上で新しい提案と課題条件にあった設計デザインが出来るようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		建築設計業を中心として数々の住宅設計・監理を手掛けている		
指 導 内 容				
前 期（12 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	プランナー設計製図課題		課題説明・現地調査	
2	プランナー設計製図課題		エスキース(1)	
3	プランナー設計製図課題		エスキース(2)	
4	プランナー設計製図課題		配置平面ゾーニング	
5	プランナー設計製図課題		敷地配置図、仕上げ表	
6	プランナー設計製図課題		立面図	
7	プランナー設計製図課題		断面図	
8	プランナー設計製図課題		各階平面図(1)	
9	プランナー設計製図課題		天井伏図	
10	プランナー設計製図課題		インテリアパース(1)	
11	プランナー設計製図課題		インテリアパース(2)	
12	プランナー設計製図課題		プレゼンテーションボード(1)	
13	プランナー設計製図課題		プレゼンテーションボード(2)	
14	プランナー設計製図課題		資料整理・ファイリング作業	
15	総合提出			
後 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

ID・ 実習科目	実習	店舗デザイン設計（飲食・物販）	3 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目的：店舗を設計し企画・提案できるようになる。</p> <p>前期目標：実践的な小規模店舗設計を行い、新築をデザインする上で大切な仕上げ材・材料・什器の納まりを考えさせ、店舗計画の基本と演出の仕方を習得させる。</p>			
実務家教員の実務経験	設計・デザイン事務所を中心として数々の商業施設の設計・監理を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	鉄骨造新築設計課題		現地調査・法規確認	
2	鉄骨造新築設計課題		構造計画	
3	鉄骨造新築設計課題		配置図	
4	鉄骨造新築設計課題		平面図	
5	鉄骨造新築設計課題		断面図	
6	鉄骨造新築設計課題		立面図	
7	鉄骨造新築設計課題		平面詳細図	
8	鉄骨造新築設計課題		展開図	
9	鉄骨造新築設計課題		天井伏図	
10	鉄骨造新築設計課題		仕上げ表	
11	鉄骨造新築設計課題		什器図	
12	鉄骨造新築設計課題		パース	
13	鉄骨造新築設計課題		表紙 他	
14	鉄骨造新築設計課題		プレゼンテーションボード	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



I D・ 実習科目	実習	プレゼンテーションテクニック	3 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：プレゼン技法を習得し、制作された作品の表現力を向上させる。</p> <p>前期目標：各自の作品の表現力を向上させることを目的とし、インテリア模型が製作できるようになる。</p> <p>後期目標：卒業制作と連携を図り最終作品のプレゼンテーションを向上させることを目的とし、自身がデザインした空間模型を作ることができる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教 程		教 程 内 容	
1	家具模型 ソファ		部材切り出し(1)	
2	家具模型 ソファ		部材切り出し(2)	
3	家具模型 ソファ		組み立て(1)・塗装(1)	
4	家具模型 ソファ		組み立て(2)・塗装(2)	
5	家具模型 ソファ		組み立て(3)・塗装(3)	
6	家具模型 キッチン		模型製作手順説明・材料確認	
7	家具模型 キッチン		部材切り出し(1)	
8	家具模型 キッチン		部材切り出し(2)	
9	家具模型 キッチン		組み立て(1)・塗装(1)	
10	家具模型 キッチン		組み立て(2)・塗装(2)	
11	家具模型 キッチン		組み立て(3)・塗装(3)	
12	家具模型 キッチン		組み立て(4)・塗装(4)	
13	家具模型 キッチン		模型撮影(1)	
14	家具模型 キッチン		模型撮影(2)	
15	まとめ			
後 期 (3 時限)				
週	教 程		教 程 内 容	
1	卒業制作模型製作		材料調整	
2	卒業制作模型製作		土台作成	
3	卒業制作模型製作		材料調整・検討	
4	卒業制作模型製作		建物躯体作成(1)	
5	卒業制作模型製作		建物躯体作成(2)	
6	卒業制作模型製作		建物躯体作成(3)	
7	卒業制作模型製作		建物躯体作成(4)	
8	卒業制作模型製作		躯体仕上げ貼込・開口部作成(1)	
9	卒業制作模型製作		開口部作成(2)	
10	卒業制作模型製作		インテリア模型部品作成(1)	
11	卒業制作模型製作		インテリア模型部品作成(2)	
12	卒業制作模型製作		インテリア模型部品作成(3)	
13	卒業制作模型製作		インテリア模型部品作成(4)	
14	卒業制作模型製作		インテリア模型部品作成(5)	
15	卒業制作模型製作		外構・隣地表現等検討・作成	

I D・ 実習科目	実習	インテリアドローイング	3 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：プレゼン技法に留意し、自身が設計したインテリア空間をドローイングによって表現できるようになる。</p> <p>後期目標：マーカー着彩を重視したインテリアパースに留意するとともに家具レンダリングができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		工務店・設計事務所を中心に公共施設や住宅の手書きによるパース制作を手掛けている。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	インテリアパース演習課題		ドローイング	
2	インテリアパース演習課題		マーカーによる着彩(1)	
3	インテリアパース演習課題		マーカーによる着彩(2)	
4	インテリアパース演習課題		ドローイング	
5	インテリアパース演習課題		マーカーによる着彩(1)	
6	インテリアパース演習課題		マーカーによる着彩(2)	
7	インテリアパース演習応用課題		ドローイング	
8	インテリアパース演習応用課題		マーカーによる着彩(1)	
9	インテリアパース演習応用課題		マーカーによる着彩(2)	
10	卒業制作インテリアパース作成		構図設定・調整	
11	卒業制作インテリアパース作成		ドローイング	
12	卒業制作インテリアパース作成		ドローイング	
13	卒業制作インテリアパース作成		着彩作業(1)	
14	卒業制作インテリアパース作成		着彩作業(2)	
15	まとめ			

I D・ 実習科目	実習	卒業制作	3 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：今まで学んできた知識や技術を最大限に活かし、各自が選択した卒業制作の計画やデザインを具体的に実現可能な設営計画を留意し、様々な背景を基に問題点を提起し、提案制作する。</p> <p>後期目標：3年間の集大成としての作品づくりを通して、個々の持つ能力を最大限に発揮し、創造性豊かで独創性のある作品を提案制作する。</p>		
実務家教員の実務経験		設計・デザイン事務所を中心として数々の住宅・商業施設の設計・監理を手掛けている。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（18 時限）				
週	教程	教程内容		
1	卒業制作	テーマの設定・申請およびリサーチ		
2	卒業制作	コンセプトワーク&エスキース(1)		
3	卒業制作	コンセプトワーク&エスキース(2)		
4	卒業制作	中間チェック		
5	卒業制作	配置図・仕上げ表		
6	卒業制作	立面図		
7	卒業制作	断面図		
8	卒業制作	平面図		
9	卒業制作	展開図		
10	卒業制作	天井伏図		
11	卒業制作	その他図面		
12	卒業制作	図面調整作業		
13	卒業制作	図面印刷		
14	卒業制作 総合提出・	図面ファイリング		
15	講評会			

FD・ 専門科目	講義	家具加工・材料	3 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：家具材料の性質を理解して、加工方法の選定をできるようになる。</p> <p>前期目標：木工機械の取り扱いと安全を理解し、家具の管理・積算等を通じて、さまざまな材料による加工法を身につけたうえで、その生産方法を理解し、計画できるようになる。</p> <p>後期目標：無垢材以外の家具材料である合板類や金物等について学び、接着剤の種類やそれぞれの性質を理解し、計画に生かすことができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	木工機械の安全	基本手順と安全確認について		
2	木工機械の安全	帯鋸・丸鋸		
3	木工機械の安全	かんな盤		
4	木工機械の安全	角ノミ・ルーター		
5	木工機械の安全	その他木工機械について		
6	木工家具の安全と作業手順	箆笥・戸棚類		
7	木工家具の安全と作業手順	机・テーブル・椅子・ベッド		
8	木工家具製作演習	製作工程		
9	木工家具製作演習	組み立て		
10	木工家具製作演習	仕上げ		
11	木工家具部材	椅子張り		
12	木工家具部材	材料・方法・工具		
13	木工家具部材	曲げ木		
14	木工家具部材	装飾		
15	まとめ			
後 期（6 時限）				
週	教程	教程内容		
1	木質材料詳細知識	概要説明		
2	木質材料詳細知識	合板・普通合板・特殊合板		
3	木質材料詳細知識	パーティクルボード・ファイバーボード		
4	木質材料詳細知識	積層材と集成材		
5	プラスチック成型材料・その他の材料	成型の種類・建築内装材		
6	プラスチック成型材料・その他の材料	プラスチック成型材料・竹材・籐材		
7	プラスチック成型材料・その他の材料	化粧単板・印刷紙・合成樹脂化粧板		
8	接着と接着剤	種類と用途		
9	接着と接着剤	接着剤の分類		
10	接着と接着剤	合成樹脂系接着剤		
11	接着と接着剤	合成ゴム系・タンパク質系接着剤		
12	金属材料・内装材料	金属の種類		
13	金属材料・内装材料	金属の加工・用途		
14	金属材料・内装材料	金属系壁材料・ガラス		
15	まとめ			

FD・ 専門科目	実習	ファニチャーデザイン設計	3 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：家具製作の専門的な作図方法を習得するとともに、家具デザインができる技術を習得する。</p> <p>前期目標：課題の基本図面・実施設計図を描く事で構成部材・仕口等を図面から読み取る。その他、卒業制作を考える上でベースとなる予備知識を増やす。</p> <p>後期目標：個人の技量とデザインの可能性の両方を模索しながら設計し、図面の作図・模型製作・材料選び・発注・製作と卒業制作を通して一連の流れを習得する。やそれぞれの性質を理解し、計画に生かすことができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	概要説明		
2	三面図	三面図作成		
3	その他の図面	家具レンダリング		
4	規格書・仕様書・見積り	詳細について		
5	人間工学	角度・寸法調整		
6	成型・金属・その他の材料選択	成型加工について		
7	成型・金属・その他の材料選択	金属加工について		
8	成型・金属・その他の材料選択	その他について(1)		
9	成型・金属・その他の材料選択	その他について(2)		
10	卒業制作について	概要説明		
11	卒業制作について	調査(1)		
12	卒業制作について	材料選定(1)		
13	卒業制作について	見積もり(1)		
14	卒業制作について	見積もり(2)		
15	まとめ			
後 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	卒業制作	エスキース(1)		
2	卒業制作	詳細設計(1)		
3	卒業制作	詳細設計(2)		
4	卒業制作	詳細設計(3)		
5	卒業制作	プレゼンテーションボード(1)		
6	卒業制作	プレゼンテーションボード(2)		
7	卒業制作	プレゼンテーションボード(3)		
8	卒業制作	プレゼンテーションボード(4)		
9	卒業制作	プレゼンテーションボード(5)		
10	卒業制作	プレゼンテーションボード(6)		
11	卒業制作	プレゼンテーションボード(7)		
12	卒業制作	プレゼンテーションボード(8)		
13	卒業制作	プレゼンテーションボード(9)		
14	卒業制作 総合提出	プレゼンテーションボード(10)		
15	作品講評			

FD・ 実習科目	実習	家具製作	3 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：椅子・テーブル製作を通して各部の角度加工及び治具づくりの技術を学び、卒業制作に向けての応用技術を習得させ、小規模家具を製作することができるようになる。</p> <p>前期目標：製作過程での木取表作成、木取、角度穴加工治具製作などの技術習得を通して、家具製作ができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		木工製作所で数々の家具や木製品の製作を行っている。		
指 導 内 容				
前 期（18 時限）				
週	教程		教程内容	
1	木製家具製作課題	椅子・テーブル	現寸図の製作(1)	
2	木製家具製作課題	椅子・テーブル	現寸図の製作(2)	
3	木製家具製作課題	椅子・テーブル	治具加工	
4	木製家具製作課題	椅子・テーブル	原寸大モデリング(1)	
5	木製家具製作課題	椅子・テーブル	原寸大モデリング(2)	
6	木製家具製作課題	椅子・テーブル	原寸大モデリング(3)	
7	木製家具製作課題	椅子・テーブル	木取作業(1)	
8	木製家具製作課題	椅子・テーブル	木取作業(2)	
9	木製家具製作課題	椅子・テーブル	木取作業(3)	
10	木製家具製作課題	椅子・テーブル	部材加工(1)	
11	木製家具製作課題	椅子・テーブル	部材加工(2)	
12	木製家具製作課題	椅子・テーブル	部材加工(3)	
13	中間提出・講評		部材加工(4)	
14	卒業制作計画		部材修正(1)	
15	材料計算		部材修正(2)	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

FD・ 実習科目	実習	卒業制作	3 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：今まで学んできた知識や技術を最大限に活かし、各自が図面作成から製作工程を考え、作品製作ができるようになる。</p> <p>後期目標：基礎作業応用加工を踏まえてこの製作図面から材料計算・加工法をへて、より完成度の高い作品製作に留意し、家具を製作できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（18 時限）				
週	教程		教程内容	
1	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	製作工程計画・確認	
2	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	木取(1)	
3	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	木取(2)	
4	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(1)	
5	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(2)	
6	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(3)	
7	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(4)	
8	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(5)	
9	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(6)	
10	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	加工(7)	
11	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	組み立て木地調整(1)	
12	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	組み立て木地調整(2)	
13	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	塗装(1)	
14	卒業制作製作実習	椅子・テーブル	塗装(2)	
15	総合提出・講評会			